

# 東海開業臨床心理士協会主催第12回「心理臨床セミナー」のご案内 2010,12,8

主催：東海開業臨床心理士協会

〒446-0031 愛知県安城市朝日町2-1

小泉心理相談室内 Tel/Fax0566-77-5677

Email : [koizumi0@amber.plala.or.jp](mailto:koizumi0@amber.plala.or.jp)

日時 2011年2月11日(祝日)9:30～16:45

会場 名古屋都市センター(金山総合駅南口)

## 全体テーマ：解釈するという行為—言葉にすること

心理療法は、言葉のやりとりが軸となって展開されていきます。しかしながら心理療法の空間には、身体性を介した非言語的コミュニケーションが充満しており、それをいかに汲み取っていくかが、心理療法の成否に関与するでしょう。心理療法が何らかの治療契約に基づいて場所や時間を決めて行うものである以上、それは言葉の世界を大事にすることで成り立つものでもあります。

「言葉にすること」は、非言語的なものが動いていることを認め、それを互いに共有していることを印づけるものです。それは、そのような「言葉にすること」が継続、深化されることを、告げる「事」でもあるかもしれません。「解釈」は、治療者がクライアントについて分かっていることを伝え、その伝達を通じて、クライアントに何らかの変化が起こることを意図している「行為」ではないでしょうか。ここでは、クライアント—治療者関係が治療的に働いていることが前提となるでしょう。

本年度の心理臨床セミナーでは、心理療法において言葉の果たす役割の重要性を考え、「解釈するという行為—言葉にすること」を全体テーマとしました。

## <プログラム>

9:10 受け付け開始

### (特)部 全体会 心理療法における言葉の働き

9:30 ご挨拶 会長 手束心理言語臨床研究所 手束 邦洋

9:35 基調講演 司会 岐阜カウンセリング研究所 宮地 幸雄

講演「解釈するという行為—言葉にすること」

講師 人間環境大学・渡辺雄三分析心理室 渡辺 雄三

10:25 臨床報告・指定討論・全体討論

司会 ながら心理相談室 堀 恵子

報告者 手束心理言語臨床研究所 手束 邦洋

臨床報告「音声、存在、言葉-回復期の1セッションから」

11:10 基調講演・臨床報告に対する指定討論、全体討論

司会 ながら心理相談室 堀 恵子

指定討論者 くな心理相談室 鈴木 誠

RAY 心理研究所 二ノ村玲子

羽根メンタルクリニック 羽根 晃先生

## 【部 分科会 各療法における言葉の働き

14:00:分科会 A:事例検討:箱庭療法における言葉の働き

座長 はこ心理教育研究所 亀井 敏彦  
討論者 小泉心理相談室 早川すみ江  
事例報告者 児童養護施設プティヴィラージュ 柴田 一匡

分科会 B:事例検討:表現療法における言葉の働き

座長 中村心理カウンセリング 中村 勝治  
討論者 小泉心理相談室 広藤奈津子  
事例報告者 川辺やすらぎクリニック 河井 孝予

分科会 C:事例検討:精神分析的な心理療法における言葉の働き

座長 小泉心理相談室 小泉規実男  
討論者 小泉心理相談室 浅井真奈美  
事例報告者 (公募。報告希望者は事務局までご相談下さい。)

16:45 閉会

**参加資格:**臨床に携わっている専門家(9000 円)、臨床系大学院生(6000 円)。

**申込方法;**参加を希望される方は、住所・氏名・所属・職種・臨床心理士資格の有無・連絡先;メールアドレス・携帯番号・希望分科会 ABC を明記の上、事務局 ([koizumi0@amber.plala.or.jp](mailto:koizumi0@amber.plala.or.jp)) までメールにてお申し込み下さい。先着順で定員 (90 名) に達し次第、締め切らせていただきます。参加費の振り込み方は、受諾返信メールでお知らせします。